

# 介護の仕事をしています

## 地域に貢献したい

**Q** 実際に働いてみて想像していたこととの違いはありましたか？

**A** 利用者と一緒に楽しく過ごすことがいい介護だと思っていましたが、それだけが単純にいい介護とは言えないと思うようになりました。介護の仕事は命を預かる仕事でもあり、夜間の急変時には、一人で対応しないといけないこともあります。利用者の表情や顔色に日々注



**Q** 介護現場で働くことと想像したきつかけは？

**A** 中学生の時に、私の曾祖母が認知症になり、今までできていたことができなくなってしまう様子を目の当たりにしました。父が介護事業所を経営していることもあり、小さい頃から知っている地域の皆さんが地域で生活ができるよう、自分が支えてあげたいと思うようになりました。



鹿田実永さん(20歳)  
小規模多機能  
居宅介護事業所 庵  
介護職員(令和4年採用)  
飯南高校卒業後、町の『医療及び福祉従事者確保対策助成金』を活用しながら、出雲市内の専門学校で学び、介護福祉士資格を取得、今年3月から勤務

**Q** 休日の過ごし方は？

**A** 飯南音楽団に所属し、毎週火曜日・木曜日に練習をしています。最近では、バイクを買ったので、ツーリングに出掛けるのも楽しみにしています。

意しながら接することで、小さな変化に気づくことができるようになります。早めの対応に繋がっていると実感しています。

## 異業種から転職

**Q** 以前の職場と比較して良いところは？

**A** 教員時代は帰宅時間が遅いことや、休日の部活動など少なからず負担がありました。現在は、夜勤もありますが22時



**Q** 実際に働いてみて想像とのギャップはありましたか？

**A** 介護現場は学生時代の実習で経験し、その時のイメージが残っていました。しかし、実際に働いてみると食事や排泄の介助以外にも、利用者の生活をより良くしていくという職場の雰囲気を感しました。

**Q** 休日の過ごし方は？

**A** 赤名フットボールクラブの監督をしています。土日に活動する場合には、夜勤の明け休みを有効活用しています。事前に希望を出しておくことで可能な範囲で勤務を調整してもらえています。



薬師寺良樹さん(40歳)  
特別養護老人ホーム  
あかぎの里  
介護職員:サブリーダー  
(平成29年採用)  
大学卒業後、教員や、酒蔵での経験を経て、35歳の時に飯南町へ。現在あかぎの里で5年目

からスタートなので、子どもたちと過ごす時間が多く取れるところが良いです。

高齢者介護の現状や従事者の声、課題解決のための取組を紹介しました。

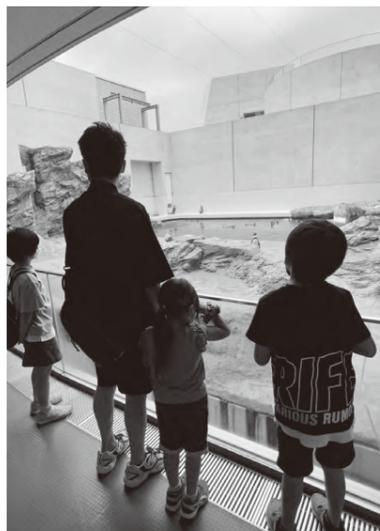
「これからも住み慣れた飯南町で安心して暮らしたい」。皆がそう思う飯南町の未来のために、介護・福祉職場で勤めたい人を応援しています。

そして、身近に介護職の道へ進学や就職を考えている人が居たら、少し背中を押してあげてください。

### 求人情報はこちら

飯南町人材確保支援センターでは、求人情報の発信や就業相談を行っています。

<https://iinan-teiju.jp/work/>



3人の子どもたちと遊んだり、一緒に過ごす時間も大切にしています。

**Q** 休日の過ごし方は？

**A** 趣味はトレイルランニングです。琴引山によく登ったりします。

**Q** 現在の仕事のやりがい？

**A** 夜勤もあり大変な部分もありますが、性別や年齢に関係なく活躍することができる場所です。若者からベテランまでそれぞれの良さを発揮し、助け合いながら働くことができるのがこの事業所の特徴です。

**Q** 今の仕事に就こうと思ったきっかけは？

**A** 最初は親の勧めで町外の福祉施設に勤めていましたが、家業を継ぐためにも飯南町に帰ろうと考えていました。他業種への転職も検討しましたが、介護の仕事が働きたいのある仕事だったことから、介護の道に引き続き就くことにしました。



倉橋 惇さん(37歳)  
グループホーム あゆみの杜  
主任兼管理者(平成29年採用)

県外の大学卒業後、松江市内の特別養護老人ホームで7年間勤務し、飯南町へ

## 好きな仕事を続けながらUターン